

“鉄より堅く逞しき”

生徒指導通信 第25号
令和3年11月15日発行
黒沢尻工業高等学校

○「対立」や「衝突」はチームが1つになるチャンス

組織はほんの少しいことで乱れていきます。それは、部活動や大人の会社でもそうです。それでも、ちょっとしたきっかけで結束することもできます。

“対立”と“和解”、“乱れ”と“まとまり”。これを繰り返していくことで、少しずつ団結力や一体感が育まれていきます。

大切なのは、表面的な“仲良しごっこ”で終わらせないことです。自分に非がある時には、素直に謝るのは当然のことです。

時には真正面から自分の考えを伝え合い、衝突することもお互いを分かり合うことには必要です。

でも、対立は怖いもの。誰だって人から嫌われたくないですし、どう思われているかを気にするものです。大人の世界でも、空気を読んで言えずじまいに終わってしまうこともあります。

しかし、チームとして団結するためにも、より成長するためにも、そうしたぶつかり合いこそが大切な要素になります。『鉄は熱いうちに打て』です。表面的に争いを避けて、当たり障りなく付き合っている、仲が良いふりをしながらストレスを抱えてしまい、本当の意味でお互いを理解し合うことはできていません。逆に、表面的には良い関係に見えなくても、その結果、地盤がしっかりしていい状態になります。『雨降って地固まる』とはよく言ったものです。

対立や衝突、ケンカやぶつかり合いがあることで、お互いを良く知り、チームの地盤が固まります。それは、お互いにチームや相手を思っているからこそこのことです。対立や衝突を恐れるのではなく、それを力に変えましょう！

○部活動時の危機管理

現在は後期中間考査中ですが、これから部活動をする際に大きな怪我や事故に遭ってしまわないよう十分注意する必要があります。例えば、顧問の先生が不在の時、設備の位置が変更された時や新たに用具が入った時、あるいは体調が悪い時や身体がナマっている時は、特に危険が増すものです。

以下にチェック項目を示しますので、参考にして練習前後に確認しておきましょう。

<部活動チェック表>

(○・・・異常なし ×・・・異常あり→状況・措置等を記入)

	項 目	確 認	状 況・措置等
活 動 前	グラウンドやコートの状態		
	練習の障害となるものは置かれていないか		
活 動 中	用具や施設はきちんと使用できるか		
	怪我・体調不良者の確認		
活 動 後	練習内容を把握しているか		
	顧問の先生の所在の確認		
活 動 中	ウォーミングアップ		
	適切な水分補給と休息		
活 動 後	モチベーションの維持		
	クーリングダウン		
活 動 後	怪我・体調不良者の確認		
	施設等の状態確認		